

事案名	福岡市および志賀町の事案（福岡県401）
分類	生産・保有 廃棄・遺棄 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」資料1の2〔1〕</li> <li>・「浜名湖に投棄された軍用ガスの処分について（通知）」昭和24年12月28日〔2〕</li> <li>・「化学兵器調査ノ件報告」昭和20年11月5日〔3〕</li> <li>・「各航空廠引渡目録」2/2〔4〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（報告）」（平成15年10月9日）〔5〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>第21海軍航空廠は、終戦時に博多（志賀島）と福岡（小富士村）にイペリット爆弾を保有していたとされている。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終戦時に海軍航空廠博多工場（志賀島）にはイペリット1.1トンが残存していた〔1〕。</li> <li>・終戦時の保有量は、志賀島の第21海軍航空廠博多工場にイペリット型薬缶67個（内容量計1,139kg）、福岡県小富士村の第21航空廠小富士工場にイペリット型薬缶7個（119kg）と記載されている〔2〕。</li> <li>・終戦時の保有量は、博多の第21航空廠に60kg六番一号爆弾74発と記載されている〔3〕。</li> <li>・第21海軍航空廠の60kg一号爆弾の保有数として、博多に67発、福岡に7発と記載されている〔4〕。</li> </ul> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各航空廠のイペリット型薬缶は昭和21年8月ごろまでに米軍の監督のもとに海洋投棄したと記載されている〔2〕。</li> </ul> <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の志賀島から西戸崎の世帯数は2,831世帯、井戸概数は446本。井戸水からはヒ素が検出された地点もあるが、その原因は「地層由来のものと推定される」と記載されている〔5〕。</li> </ul>